



現地の生徒と一緒にバスケットボールを楽しみました



バナナボートに乗り、グアムの海を満喫

グアム研修で学んだこと

1年3組 今井 美希

私がグアム研修で学んだことは、大きく二つあります。

一つ目は、「伝達の仕方」です。グアムは英語なので、自分の意思をしっかりと伝えることは難しいと思っていましたが、ジェスチャーや顔の表情、動きなどで相手とコミュニケーションをとることができました。特にイナラハン・ミドルスクールへ行った時には、ペアの子が席をゆずってくれたり、飲み物を持ってきてくれたり、花かざりをつけてくれたりと、英語を使っていなくても相手と会話をするのができた気がします。そこでの交流で喜びの他に、日本では感じられない空気やテンションに驚きを感じることもできました。

二つ目は「自分のことは自分です」ということです。研修中は自分のことは自分でこなしていくということは当たり前でした。例えば、翌日の準備、荷物の整理、体調の管理などを計画的に生活することです。

研修前は、次に何をやればいいのか分からず、母や姉に頼っている場面が多かったです。そのせいで、基本的な当たり前のことができていないこともよくありました。でも今回の海外派遣事業で、自分の身の回りの当たり前のことは、自分でこなすことが大切だと学ぶことができました。

これからは、グアムで学んだ伝達の仕方です。いろいろなたくさんの人とコミュニケーションを図っていきたく思います。また、生活面では、自分の身の回りのことは自分でこなしていくという自立心を大切に生活していきたいです。この海外派遣事業で分かった自分の成長と課題をこれからの自分の生活に活かしていきたいです。また、私は研修中に「ありがとう」という言葉をたくさん使いました。ときには「Thank you」という時もありました。例えば何か物を買った時、誰かに何かをもらった時、親切にもらった時などです。この言葉を使うと必ず笑顔で「You are welcome」という言葉が返ってきます。この会話は短いけど、とても温かみのある会話だと思います。ここ日本でも「ありがとう」「どういたしまして」という言葉を大切に、このグアムの研修で学べたことをこれからの自分に活かして、充実した生活を送ってみたいです。

外国人とのコミュニケーション

2年2組 大藏 望美

イナラハン・ミドルスクールに着くまで、私は自分の英語の発音でグアムの中学生に伝えることができるのかとても心配でした。でも学校に着くと、生徒の子達は温かく私達を歓迎してくれて、「コンニチハ」とあいさつをかえてくれる子までいて、とても嬉しかったです。私のスピーチの出番があつという間にまわってきて、とても緊張して、原稿ばかり見てしまいましたが、学校長の方やイナラハン・ミドルスクールのみんなから拍手されたときは緊張もほぐれて、「今日一日学校でがんばりたい」という気持ちがさらに強くなりました。

しかし、学校施設案内をしてもらっている間はすべて英語で、しかも「ゆっくり話してほしい」や「もう一度言ってほしい」を言おうとしても、うまく言葉にならず、すごくもどかしい思いをしました。ランチタイムのとき、学校の制服の話題がでました。その時私達は私服を着ていたので「日本の中学は、制服ではなく私服なのか」と勘違いされたと思います。その誤解を解くためにも、上手に英文を作り、言えたら良かったけど、私にはまだその力がなくあいまいなまま、その話題が終わってしまいました。最後まで自分の考えが伝えられなくて悔しかったし、言いたいことがあるのに伝わらないもどかしさを体験しました。

その時から私はもっと自身の英会話能力を高めていきたいと強く思いました。私は今まで英語のテストで良い点を取り、良い成績をとることだけを考えてやってきました。でも、実際まったく日本語の通じない人に自分の考えを伝えるためには、文法を覚えたり、単語を覚えることだけではだめだと分かりました。コミュニケーションをとるために声を出したり、相手の目を見て話したり、ジェスチャーを使ったりと今の自分でもやれることはあったはずで。

外国の人と関わる際にはグローバルな視点を持って接することも大切だと思います。私はこのグアム研修で外国の人と話題を共有するためには、今の英語学習をこなすだけでなく、積極性をつけていくことも大切なので、学習の仕方を見直していきたいです。